

2018年
6月定例会

No.168

発行日
平成30年8月1日



手作りの楽器でコンサート（環境交流館イベント）

もくじ

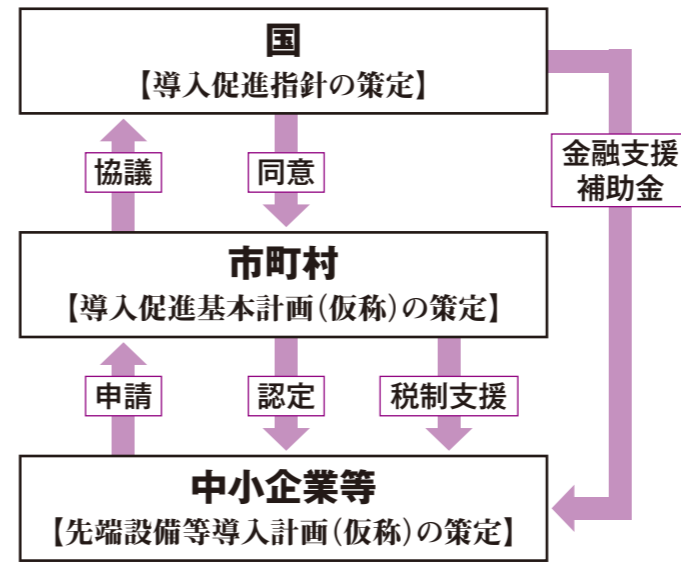
議案審議	中小企業等の設備投資に固定資産税の特例措置……	2
委員会の活動報告	……	4
一般質問	8人が町の考えを問う……	6
追跡調査隊	追うレンジャー……	11

いながわ議会だより

中小企業等の設備投資に 固定資産税の特例措置

第390回 6月定例会

第390回 6月定例会を6月8日から6月22日まで15日間開会し、専決処分3件・条例制定1件・条例改正5件・規約変更1件・動産購入1件を審議し、いずれも全会一致で原案のとおり同意・可決した。このほか、請願1件を採択、4件を不採択とした。
一般質問は8人の議員が行った。



生産性向上特別措置法のイメージ図

専決処分

町税条例等・都市計画税条例・国民健康保険税条例の一部を改正

条例制定

指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例
地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の施行により、介護保険法の一部が改正されたことに伴い、本条例を制定。

条例改正

町税条例の一部改正
地方税法の一部改正に伴い、生産性向上特別措置法が公布されたことにより、中小企業等の一定の設備投資について、固定資産税の特例措置を創設するため、本条例の一部を改正する。(参照P4)

規約変更

兵庫県市町交通災害共済組合規約の一部変更
兵庫県市町交通災害共済期間を平成32年3月31日までとするため、兵庫県市町交通災害共済組合規約の一部を変更する。

動産購入

小型動力ポンプ付積載車を更新
契約金額79万3千800円で購入



小型動力ポンプ付積載車

ひとくちメモ

専決処分
条例や予算など、時間的に議会の開会を待てない緊急の場合に町長が議会に代わって決定するもの。

意見書を提出

請願第5号

『小・中学校における少人数学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持』を求める請願書

◎請願者

連合川西・猪名川地区連絡会

結果

全会一致で採択

「意見書」を

国へ提出

要旨

子どもたちの豊かな学びを実現するため、教職員定数改善などの条件整備は最重要課題である。

受理した請願

請願第1号

国民健康保険の広域化にあたっての請願

◎請願者 全日本年金者組合兵庫県本部 猪名川支部

反対 国保財政への支援は強化されていると考えることから反対である。

賛成 国保会計への国の負担は45%から25%まで減らされている。元に戻すべきであり、賛成。

請願第2号

介護保険の充実を求める請願

◎請願者 全日本年金者組合兵庫県本部 猪名川支部

反対 窓口負担も現在の1割負担、高額所得者2割負担は妥当と判断することから反対。

賛成 国は50%の負担を超える分のサービスを削減しており、賛成。

討論

請願第3号

年金の毎月支給に改める意見書の提出を求める請願

◎請願者 全日本年金者組合兵庫県本部 猪名川支部

反対 事務的な負担と経費が2倍になり、更なる混乱が生じることから反対。

賛成 マイナンバーには本町でも1億円以上使っている。年金者の楽しみを奪うべきで無く、賛成。

請願第4号

「最低保障年金制度」創設のための意見書提出を求める請願

◎請願者 全日本年金者組合兵庫県本部 猪名川支部

反対 国が進めている社会保障と税の一体改革を注視すべきと考えるため反対。

賛成 年金積立金は不透明支出されてきた。150兆円の積立金を使い、実施すべきで、賛成。

結果 いずれも賛成2・反対13で不採択

議案等の審議結果 ※全員が賛成の議案は、表示していません。

件名	会派名														肥爪勝幸													
	日本共産党	産団	公明党	清流会	クリエイティブ猪名川	いな	が	わ	元	気	会派に属さない議員	山田京子	中島孝雄	岡本信司		下神實千代	丸山純	福井澄榮	久保宗一	加藤郁子	石井洋二	宮東豊一	西谷八郎治	阪本ひろ子	南初男	池上哲男	下坊辰雄	
請願第1号 国民健康保険の広域化にあたっての請願	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	-
請願第2号 介護保険の充実を求める請願	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	-
請願第3号 年金の毎月支給に改める意見書の提出を求める請願	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	-
請願第4号 「最低保障年金制度」創設のための意見書提出を求める請願	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	-

○…賛成 ●…反対 ※肥爪勝幸議長は採決に加わらないため「-」で表示

総務文教 つつじが丘幼稚園平成32年度末で閉園

6月12日、委員会を開会し、付託2議案を審査。主な質疑は次のとおり。**幼稚園設置条例の一部改正について**

◎ つつじが丘幼稚園閉園後の跡地活用は。

◎ 園舎等が建っている部分は町有地で、園庭と駐車場は能勢電鉄から無償で借りている土地であり、跡地利用は、今のところ検討はしていない。
◎ 猪名川幼稚園に行きたい人が増え、定員オーバーになった場合はどうするのか。

◎ 入園希望者が定員を超えた場合は抽選を考えている。基本的に園区全体による抽選として、特定の地域の人を優先することは考えていない。また、抽選に外れた場合は定員が空くまでの間、ほかの町立幼稚園に入園してもらおうよう説明する。

◎ 町税条例の一部改正について
◎ 先端設備導入の基準と町内対象企業は。
◎ 設備ごとに条件は異なるが、過去のものと比べて1%以上の生産性向上が図られている設備を導入することが条件となっている。経済センサスを製造業・小売業などの町内674事業所を対象に行っており、その中の半分以下が対象になると考えている。
(いずれも全会一致で可決)



つつじが丘幼稚園

いながわ創生対策特別委員会

産業拠点地区の現地を視察

6月5日、委員会を開会し、現地の視察および進捗状況について、報告を受けた。産業拠点地区プロジェクトは、民間事業者を事業主体とし、土地造成工事は平成29年4月24日に着手し、平成31

年11月30日の完了を目指している。また進捗状況とともに、企業誘致の取り組みとして、関係団体で構成する「猪名川町産業拠点地区企業誘致推進協議会」の設立についても説明を受けた。



肝川地区の工事現場



平成29年7月撮影



平成29年12月撮影



平成30年4月撮影

工事用出入口

生活建設

放課後児童育成室支援員の資格拡大

6月13日、委員会を開会し、付託4議案を審査。主な質疑は次のとおり。**放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について**

◎ 教員免許を持っていない人も、5年以上勤め、町長が認めたものであれば、支援員として指導できるという点か。

◎ 資格要件のいずれかに該当し、県が実施する4日間の研修の受講が必要。また、5年以上育成事業に従事した人についても、2千時間以上育成室での従事を要件にした。

◎ 教員免許状には更新があるが、免許を持っていても更新していない人はどうなるのか。
◎ 免許更新していない人についても適用される。



資格が拡大した放課後児童育成室支援員

◎ 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について
◎ 介護支援専門員によるモニタリングは、本人や家族も見ることができるとのことか。
◎ 家族も見ることができるとのことか。
◎ 地域の力を活用するという点で、地域住民が協力し事故が起こった場合責任はどが取るのか。
◎ 第一義的な責任については事業所にあると考えている。
◎ 町内で対象となる事業所の数は。
◎ 事業所は町内に11ある。そのうち2事業所については県条例を準用し本年4月以降に町で指定している。

◎ 福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について
◎ 該当者はどのくらいいるのか。
◎ 指定都市から本町へ

の転入者は少なく、その中で重度障害の医療費助成の対象者はあまり多くないと考えている。
(いずれも全会一致で可決)

町村議会広報 クリニックに参加

7月10日、東京都千代田区で開催された全国町議会議長会主催の平成30年度町議会議会広報クリニックに、議会広報特別委員7人が参加した。今回のクリニック(研修)では、自治体広報広聴研究所代表の金井茂樹氏から、本町議会発行の広報紙(第167号)の編集や構成、写真の使い方などについて、指導を受けた。

このほか、他団体の様々な事例も紹介され、住民にわかりやすく、親しみやすい広報紙づくりの参考になった。



研修会の様子

一般質問

第390回定例会

町の考えを問う

質問順	質問者氏名	質問事項
1	福井 澄榮	・危機管理は万全か ・高齢者講習が町内で受けられないが ・70歳以上の免許返納について
2	阪本ひろ子	・学校現場における「がん教育」への取り組みは ・ネット犯罪の防止について ・SNSを活用した悩み相談事業への取り組みは
3	宮東 豊一	・高齢者の運転免許証返納促進について ・高齢者の運転免許証更新について
4	加藤 郁子	・本町の危機管理について ・英語教育について
5	岡本 信司	・児童発達支援について ・防災力の向上について ・消防団員の報酬等の支給方法について
6	石井 洋二	・成年後見法人受任体制の構築は ・糖尿病重症化予防の取り組みについて
7	久保 宗一	・SDGsアジェンダ2030（持続可能な開発目標）に関する地方自治体としての取り組みについて問う ・SDGsを念頭においた猪名川町の教育について問う
8	山田 京子	・空き家対策と日生ニュータウン地区計画について

(詳細は6～10ページをご覧ください。)

Q SNSを活用した悩み相談事業の周知は

A QRコード付きカードを全生徒に配布

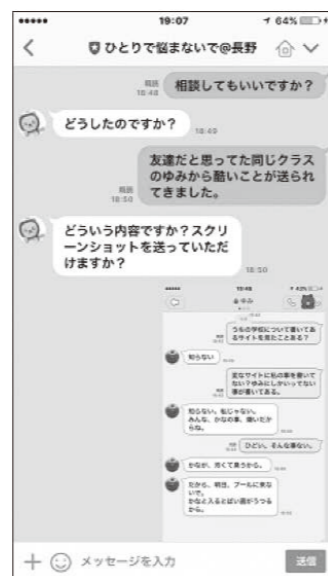


阪本ひろ子 議員

教育部長 兵庫県教育委員会が作成するQRコード付きのカードを全児童生徒に配布し、担任から説明して周知徹底を図る。また、SNSによる相談は、小規模の市や町が独自で実施する性質のものではないと考える。

教育委員長 ネット犯罪から子どもたちを守る手だては、

ひょうごここSNS悩み相談事業が、本年モデル事業として、8月1日から9月30日までの17時から21時に行われる。全ての子どもたちへの周知方法は、また、本町でも今後取り入れていくべきでは。



ライン相談 長野県

は講演会の実施や情報モラルの授業を行い、教職員に対しても、子どもたちを守る意識啓発を図る。子どもたちは、自ら話し合っ「スマホのルール作り」を実施。保護者対象の研修会の充実も図る。

がんの早期発見のために、検診率向上へつながるがん教育の重要性をどのように認識しているのか。

教育部長 がん教育推進のための教材や防煙教育リーフレットを活用し、がん予防の啓発を行っている。早期発見・早期治療の重要性を学び、検診率の向上につながるようがん教育を推進していく。

Q 町内教習所で高齢者運転免許更新を

A 早期の講習再開を強く要請していく



宮東 豊一 議員



町内の自動車教習所

高齢者の運転免許更新については、町内に自動車学校があるにもかかわらず、かなり遠方の教習所まで行かなければ更新できないのが現状。苦情や要望はないのか。また、現状への対応は。

地域振興部長 苦情や要望は、現在直接的にはないが、地域の高齢者に不便をかけていることは認識している。町内の自動車学校では、現在、講習は休止状態にあるが、機能を拡充、設備を充実し、多くの受講者を受け入れる環境整備を検討中と聞いている。再開時期は未定だが、一刻も早い再開

を強く要請していく。

高齢者の運転免許証返納促進において、町ではどのような対策をしているのか。また、返納後、自家用車に近い代替公共交通機関の幅広い利用助成はできないか。

地域振興部長 県の高齢者運転免許自主返納サポート協議会に加盟しており、運転経歴証明書の提示で様々な特典があることを説明しながら自主返納制度を啓発している。

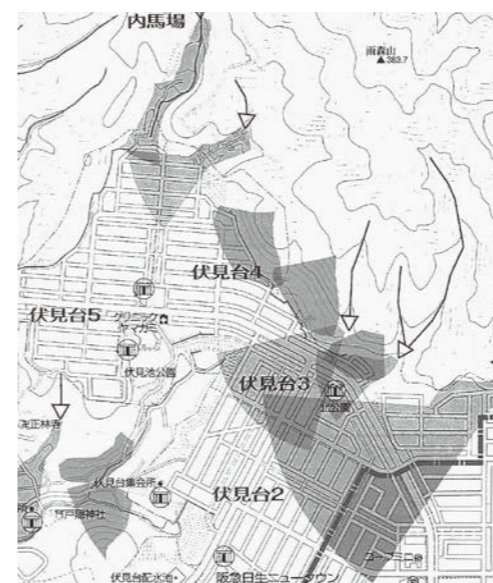
生活部長 現在「ハニカブランドパス65」の購入助成をしているが、助成対象の交通手段や乗車方法の拡充を検討していく。

Q 危機管理は万全か

A 今後防災マップに反映する



福井 澄榮 議員



猪名川町防災マップ(南部版)

平成26年の台風による集中豪雨で伏見台でも裏山が大きく崩れ、鉄砲水が大量に道路に溢れた。裏山(傾斜30度以上の切土)の地主は町だが、万が一崩落し家屋に被害が及んだり、人命が失われた場合、町が責任を負うのか。

まちづくり部長 万が一崩落し家屋に被害が及んだり、人命が失われた場合、個別の状況により司法の判断に委ねることも考えており、一概に責任の所在を明確にできるものではない。

災害の後、裏山を住民が見て回ったところ、土石流危険渓流が大きく変わっている箇所があり、

町に防災マップを訂正するように伝えたいが、未だに訂正されていない。対応は。

企画総務部長 県が28年度から「土砂災害特別警戒区域」を調査し、本年度危険地域の指定が完了する見込みで、今後「防災マップ」に反映し、速やかに周知していく。

この場所は最も危険な箇所と県が指定したが、このような危険箇所は建築許可を出した県の責任はどうか。人災にならないよう対応すべきでは。

まちづくり部長 建築確認は県が行っており、町で答える立場にない。

Q 成年後見法人受任体制の構築は

A 町社会福祉協議会と協議を進める



石井 洋二 議員



総合福祉センター内の町社会福祉協議会

成年後見人、保佐人、補助人には、個人だけでなく、法人もなることができる。弁護士などの専門職事務所が少ない地域性からも、地域福祉の推進役であり、住民が安心して利用できる町社会福祉協議会による受任体制が必要では。

生活部長 成年後見の制度内容の性質から、親族以外の個人を後見人を選任することには不安を伴う事が想定される。町社会福祉協議会と協議を進める。

放置すると合併症を引き起こし、患者のQOL(生活の質)を著しく低下させる。人工透析患者一人あたりの年間の医療費はおよそ500万円とも言われており、医療経済的にも大きな負担となる。町の取り組み内容は。

生活部長 国・県の糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、川西市医師会に本予防事業に対する理解と助言を受けつつ、県の重症化予防プログラムの対象者抽出基準に基づき、対象者を選定し、電話及び戸別訪問などにより、受診勧奨・生活指導を行う予定。

Q 特設公衆電話設置に対する対策は

A 設置・利用方法について周知を図る



加藤 郁子 議員

ひょうご防災ネットと町のお知らせを棲み分けるツールとして、本町独自のアプリを作る考えは。

企画総務部長 アプリのターゲットが若年層である場合には有効だが、町全体への配信を考えた場合、活用困難な人も多いと想定される。費用対効果も含め調査・研究したい。

いなぼうネットに加入していないと情報が入らない。防災行政無線の整備と屋外拡声子局(屋外スピーカー)設置の考えは。

企画総務部長 現時点では防災行政無線の整備はしていないが、本町にとって最も効果の得られるシステムなどの研究に取り組む。

災害時優先電話と同様の扱いの、特設公衆電話設置に対する対策は。

企画総務部長 避難所において、有事の際の連絡手段になるため、モジュラージャックの場所が誰にでも見やすい表示をし、特設公衆電話の設置・利用方法について周知を図る。

ひとくちメモ

スカイプ
Skype(スカイプ)は、マイクロソフトが提供するインターネット電話サービス。Skypeがインストールされている携帯電話、コンピュータ、タブレットなどを用いて、Skypeを使っている他の人と無料の音声通話、ビデオ通話などが行える。



特設公衆電話専用モジュラージャック

町立幼稚園でスカイプを使うなど、楽しい・遊びの英語教育の考えは。

教育部長 時間を工夫しながら英語教育の充実を図りつつ、良質な教育・保育環境を図る。

Q 第6次総合計画にはSDGsの観点を

A 策定にはSDGsを参照しつつ進める



久保 宗一 議員



国連でSDGsをPRするピコ太郎さん

SDGsと本質的に同じ本町の先行的事例は。

企画総務部長 ペレットの製造・販売といった一連の経済循環をはじめとする里山再生基本構想や、民間活力を取り入れた太陽光発電事業などがある。次期総合計画策定に国の意向を踏まえたSDGsの観点を取り入れては。

企画総務部長 これまでも持続可能なまちづくりのビジョンを示してきたおり、SDGsの考え方を参照しながら進める。

ESDとSDGsの理念を踏まえた六瀬中学のESDの取り組み状況は。

教育部長 里山・田んぼ活動や高齢化を考慮するプログラムに取り組み、教

ひとくちメモ

SDGs (エスディーゼズ)
誰一人として取り残さない持続可能な社会を目指すために、2015年の国連サミットで採択された2030年までの国際目標。

ESD (イーエスディー)
持続可能な社会づくりの担い手を育む教育。

科学習の読解力をはじめ、全国平均を上回る規範意識や自尊感情が高まった。SDGsの啓発は。

教育部長 ESDをより一層推進することがSDGsの達成に直接・間接につながることを考えている。教育振興基本計画策定にあたり新たな重点目標は。

教育部長 グローバル化に対応する教育の重点化はもちろんのこと、目標を住民と共有できる枠組みを議論している。

Q より充実した児童発達支援サービスを

A 事業開始当初から安心を確保したい



岡本 信司 議員

児童発達支援センターの整備計画の内容は。

生活部長 法人の公募が委託によって既存施設の改修により開設する方向を中心に検討している。平成32年度までに施設整備と実施体制を整え、平成33年度からの運営を目指している。開設当初は一日の利用者数10名前後を想定している。

より充実した児童発達支援サービスとなるよう、専門スタッフ、優秀な人材確保のため、事前に現場経験を積むなど、ノウハウ、知見を蓄積し専門性を持つ職員の育成が必要だが、町の考えは。



川西市児童発達支援センター「川西さくら園」

生活部長 ノウハウのある法人の公募や、運営開始前に研修でスキルアップを図るなど、優秀な人材確保と専門性取得を調査研究していき、事業開始当初から安心して通園できる環境を確保したい。

ライフステージに応じた児童発達支援を行うための関係機関の連携や保護者への支援が必要だが、司令塔はどこが担うのか。

生活部長 生活福祉課が中心となり進める。

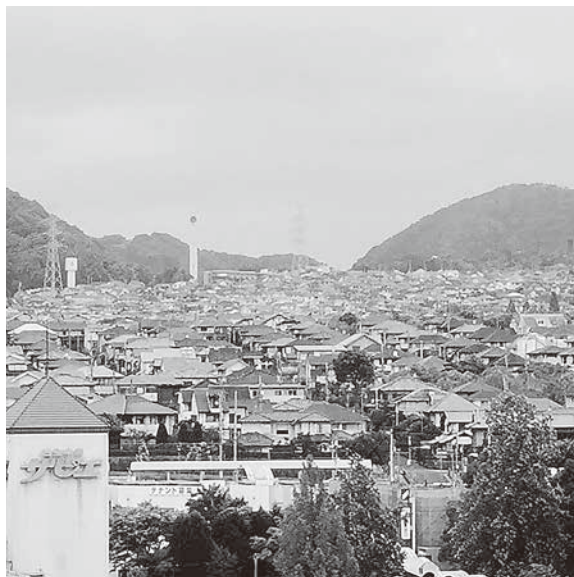
(その他の質問)
・防災力の向上について
・消防団員の報酬等の支給方法について

Q 空き家バンク創設3年間の実績は

A 売買2件、賃貸2件の計4件成約



山田 京子 議員



空き家が増える日生ニュータウン

空き家バンク創設後3年間の実績と全国版空き家バンクへの掲載の考えは。
まちづくり部長 平成30年5月末現在の登録件数8件。これまでの実績は売買物件2件、賃貸物件2件、合計4件が成約した。本町の空き家バンクへ登録している所有者の意向を確認し、全国版空き家・空き地バンクへの掲載を調査研究したい。

日生ニュータウン内の空き家所有者の特定と意識調査はしているか。
まちづくり部長 固定資産税課税情報で所有者を特定し、アンケート調査を行った。松尾台・伏見台では41人から回答があり、内2人が売買や賃貸を考えており、20人は使用していないという回答があった。

日生ニュータウンまちづくりワークショップで出た意見を各部署で情報共有していると思うが、行政として進めていこうとしていることなどはあるか。
まちづくり部長 各部署の個別計画の見直しや、33年度都市計画マスタープランの見直しの際に、地域別構想などでの意見を参考にしたい。

自治功労者表彰を受賞



西谷八郎治 議員

5月31日に開催された兵庫県町議会議長会総会において、西谷八郎治議員が町議会議員15年以上の在職功労者として表彰された。
 平成15年に初当選して以来、15年の長きにわたる議員活動等功績が認められた。

兵庫県功労者表彰を受賞



池上哲男 議員

5月18日に開催された兵庫県功労者表彰式において、池上哲男議員が長年にわたる功績に対し、自治功労者として表彰された。
 平成7年に初当選して以来、22年の長きにわたり、地方自治の発展に寄与した功績が認められた。

宮城県山元町議会が視察訪問

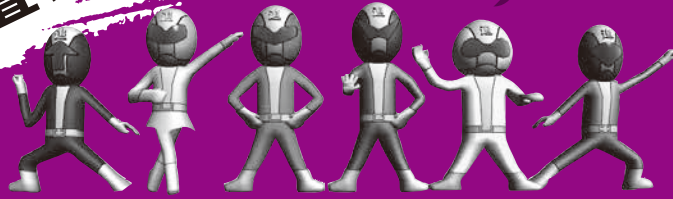
5月24日、宮城県山元町議会総務民生常任委員会が、本町の「子育て支援施策」についての行政視察のため来町。議長、生活建設常任委員長などが出迎えた。
 生活部長が概要を、こども課長が詳細について説明。その後、意見交換を行った。



宮城県山元町議会が本町を訪問

いながわ 追跡調査隊

追うレンジャー



過去に行われた一般質問のその後を追跡調査隊「追うレンジャー」が調査した。第31回のミッションは、次の質問のその後だ!!

平成24年6月定例会

質問 町管理地を ごみステーションに

ごみ収集ネットやコンテナの設置ができる町管理地があれば、進めるべき。

答弁 設置可能な場所を検討していく

町有地に限らず、可能な場所を再度確認し、検討したい。

平成23年12月定例会

質問 イオン北西付近の 安全対策は

イオン猪名川店北西付近、総合公園前三叉路は、自動車の交通量が多く危険。町としての安全対策は。

答弁 信号機設置を要望していく

公安委員会に信号機設置に向けて協議要望していく。

現在 地域の総意で 位置決定があれば設置は可能

ゴミ当番の負担軽減のための町有地へのステーションの設置には、緑地や公園などが考えられるが、ステーションの位置は住宅販売の際の経緯も踏まえ地域の中で十分に整理され、移設先の周辺住民の理解や適正な維持管理など、地域の総意で位置決定のうえ、町のごみ収集に影響がない場所であれば、施設管理者の了解のもとで町有地への設置は可能である。



現在 現在の交通量では 設置できない

信号機設置は、これまでから公安委員会へ要望してきたが、道路交通法の規定に基づく現在の「信号機設置の指針」では、自動車等往復交通量の基準を満たしていないため設置はできないとの回答があった。これを受け、町では歩行者などの視認性確保のため、平成27年度に支障となる低木の伐採と横断歩道手前に「横断歩道あり」の警告看板設置を行った。



総合公園前の交差点

芸術と手話

猪名川町ろうあ協会
今泉 友幸さん

猪名川町に暮らして23年目になります。緑の山と青い空、そしてきれいな空気の猪名川町には大変満足しています。

町民にろう者が居るかと思ひ、活動していくうちに少しずつ知り合いも増え、今は手話サークルと共に手話やろう者に対しての理解を求めて活動を続けています。

芸術の分野では、手話通訳を通してコミュニケーションを取りながら、エイブルアートの関係者と会議を行い、互いに理解を深めています。姉妹都市であるオーストラリア・バラット市の障がい者の方々は、展示会を通して交流し、お互いの作品を評価し、技術を高め合っています。

猪名川町における「手話言語条例の制定」など課題は山積していますが、ろう者と住民が協力し、手話の講習会などを実施することで、住民のみなさんが手話やろう者に関心を持ち、理解が深まることを願っています。皆さまのご協力をよろしくお願ひいたします。



夫人と一緒に昨年のエイブルアート展にて

町内のインスタ映え



七夕飾り (静思館)



肝川地区の棚田

委員会の異動

いながわ創生対策特別委員会

平成30年6月1日付けで、池上哲男委員の辞任に伴い、下坊辰雄委員を指名。

みなさんも議会・委員会を傍聴しましょう

町議会では、身近な問題などを議論しています。まちづくりと一緒に考えてみましょう。傍聴の手続きは簡単で当日、議会事務局で傍聴受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。(議場20人、委員会室10人まで)

9月定例会

〈本会議の日程〉

- 9月11日(火) 第1日/議案審議
- 9月19日(水) 第2日/一般質問
- 9月25日(火) 第3日/議案審議

〈常任委員会の日程〉

- 9月12日(水) 総務文教
 - 9月13日(木) 生活建設
- ※いずれも午前10時から

30年度定例会の日程(予定)

- ◎12月定例会 12月7日～18日
- ◎3月定例会 2月20日～3月22日

※議事の都合により変更することがあります。

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



発行 猪名川町議会
編集 議会広報特別委員会

〒666-0292
兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1
TEL072-766-8710 FAX072-766-8882